



前進座 85周年 特別公演

東日本大震災・復興支援五周年企画

ひろがれ協同 咲かそう地域

新田次郎 原作 田島栄 脚色 十島英明 演出

怒る富士

いかる

ふじ

黄金の稲穂のかなたに
仰ぎ見る 富士の姿は
どんなにか 美しかろう……



伊奈半左衛門
嵐圭史

後援… 日本協同組合連絡協議会
日本医療福祉生活協同組合連合会

盛岡公演

7月22日(金) 岩手県民会館 大ホール
7月22日(金) 岩手県民会館 大ホール
7月24日(日) キャラホール (都南文化会館)

開演 13:30 ~
開演 18:00 ~
開演 14:00 ~

前売り料金

一般 5,000円 (高校生以下 3,000円) 全席自由
当日価格 500円増

主 催

震災復興祈念事業「怒る富士」を観る会

宮古公演

7月23日(土) 宮古市民文化会館 大ホール

開演 14:00 ~

前売り料金

一般 3,500円 (高校生以下 2,000円) 全席自由
当日価格 400円増 ※宮古公演は、被災地特別割引価格。

主 催

震災復興祈念事業「怒る富士」宮古公演を観る会

※開場時間は、開演時間の30分前です。公演時間は休憩を挟み約2時間50分の予定です。



野口久馬 上滝啓太郎 河野勘右衛門 寺田昌樹 奥村与五右衛門 中嶋宏太郎 折井淡路守 松涛喜八郎 間部越前守 河原崎國太郎 大久保加賀守 益城宏 永田茂左衛門 山崎辰三郎 能勢権兵衛 藤川矢之輔 萩原近江守 武井茂 中山出雲守 津田恵一 伊奈半左衛門 嵐圭史



新井白石 志村智雄 富三郎 松浦海之介 おまつ 今井鞠子 つる 平澤愛 こと 上沢美咲 おせん 江林智施 おはる 小林祥子 緑子 妻倉和子 おそめ 前園恵子 文吉 新村宗二郎 佐太郎 藤井偉策

怒る富士

これは、時の幕府の棄民・政策に喘ぐ富士山麓・五十九ヶ村の農民たちと、彼らを守ろうとその復興に命を賭した関東郡代・伊奈半左衛門との、真実のものがたりである。

【あらすじ】

五代将軍綱吉の世。宝永4(1707)年11月23日(旧暦)、富士が火を噴いた。山麓の村々は焼け砂に埋まり、田畑は壊滅したのである。幕府は急遽、関東郡代・伊奈半左衛門に被災地代官を命じた。だが、幕閣たちは醜い派閥抗争に明け暮れていた。

ある日、半左衛門の陣屋に深沢村の若者・佐太郎、こゝろ4人が訪れた。「食する物は何もなく、鳥さえも去っていった……」彼らは命がけで村の窮状を訴えたのであった。

半左衛門は被災地に急行し農民を励ます。「お上は決して民を見捨てはしない——」と。

だが幕府の裁定は亡所であった。村々では飢えに倒れる者や故郷を捨てる者が相次ぐ。

将軍が代わり実権は柳沢吉保から間部越前守に移るが、誰一人として富士山麓に目を

向けようとはしなかった。半左衛門は己の命を懸けて公儀に異を唱える決心をする。そして、その義心に心動かされた駿府代官・能勢権兵衛は……

【メインスタッフ】

◆原作——新田次郎
◆脚色——田島栄
◆演出——十島英明
◆美術——品川洋一
◆照明——寺田義雄
◆音楽——菅野光亮
◆効果——田村恵
◆振付——藤間多寿



この事業は、「東日本大震災から5年・復興祈念事業 前進座『怒る富士』岩手公演」として実施します。観る会には、岩手県協同組合間提携協議会(JA、漁連、森連、生協など10団体)をはじめ、地域の諸団体や事業者、個人の方々が参加しています。

【後援】 盛岡市・宮古市教育委員会・岩手日報社・読売新聞盛岡支局・朝日新聞盛岡総局・毎日新聞盛岡支局・岩手日日新聞社・株式会社盛岡タイムス社・IBC岩手放送・株式会社テレビ岩手・めんこいテレビ・株式会社岩手朝日テレビ

【プレイガイド】 盛岡公演チケット — いわて生協各店舗、フェザン、プラザおでって、川徳、岩手県民会館、キャラホール
宮古公演チケット — いわて生協宮古市内店舗、リラパークこなり、キャトル宮古、宮古市民文化会館